



太陽のような笑顔が輝いた運動会

体育主任 佐藤 雄大

5月18日（日）に運動会を行いました。今年の児童会スローガン「一人一人が太陽 笑顔が輝く八幡小学校」の通り、子どもたちがそれぞれの場面で活躍する素敵な運動会となりました。



徒競走では、一人一人が自分のもてる力を發揮し、全力でゴールを目指しました。団体競技では、心を一つに力を合わせて競技に取り組みました。リレーでは、懸命にバトンをつなぐ姿が輝いていました。応援合戦では、互いの団の健闘を称え合うとともに、休み時間返上で練習に励んだ成果を出し、堂々とした応援を披露しました。精一杯やり切ろうという姿勢や思いは、八幡っ子にずっと受け継がれていくと思います。

P T A委員の皆様には、運営が滞りなく行われるよう、様々な場面においてご協力いただきました。地域の皆様にも、朝早くから大きな声援を送っていただきました。新たに取り入れた交流競技には、地域や保護者の皆様にたくさん参加していただきました。温かい雰囲気の中楽しんだ玉入れ、大人対子供で熱い決戦が繰り広げられた綱引きは、子供たちにとっても、保護者や地域の皆様にとっても思い出に残れば幸いです。

学校行事においては、目当てをもつこと、振り返りをしっかりと行うことを大切にしています。一人一人の頑張りだけでなく、学級や学年の友達の頑張りやよさにも目を向け、互いに認め合うことで、自分たちの成長を実感し、自尊感情の向上につながるようにしています。ぜひご家庭でも、お子さんのこれまでの頑張りを認め、次の活動への意欲につながるよう声をかけていただきますよう、よろしくお願ひいたします。

下学年のリーダーとして

3年担任 手操 宙志

「チェッコリ玉入れ」は、3年生が下学年の最上級生として臨みました。初めての合同練習では、3年生が、率先して、笑顔いっぱい元気いっぱい踊りました。また、1年生が上手に踊れるようにと、3年生がダンス動画を撮影して1年生に見てもらい、休み時間にも一緒に踊りました。そんな3年生の主体的な取組により、1、2年生も、キレッキレのダンスを踊ることができるようになりました。

また、休み時間に、応援合戦の練習をする下級生を目にした子供は、「1、2年生が練習しているよ！」と、教室にいる友達に声をかけ、3年生全員が1、2年生の輪に入り、喉を枯らすほど一緒に練習したこともありました。話合いでは、「ダンスや応援を考えてくれた高学年のために」「休み時間、一緒に練習してくれた友達のために」という声が聞かれました。



運動会を通して、学級の仲間はもちろん、下級生とも上級生とも関わりながら成長した3年生です。これからもたくさんの友達と助け合い、共に高めあっていくことを期待しています。